

大学院 教育学研究科 学校教育専攻 主催
2012年度 第二次 修士論文中間報告会 概要

学校教育専攻 2年生(第5期)

日時：2012年9月26日(水) 13:00～

場所：13403 教室

発表時間：発表 20分 質疑応答 10分

13:00～13:05

—平澤茂 研究科長挨拶—

1 13:05 千代間涼子

主体的に学習に取り組む
態度育成のための授業への導入

2 13:35 小原 梢

音楽教育における創作活動の追究
～音楽と言葉のかかわりに着目して～

3 14:05 楠 聖次郎

小学校高学年の
投能力向上プログラム開発に関する研究

14:35～14:50

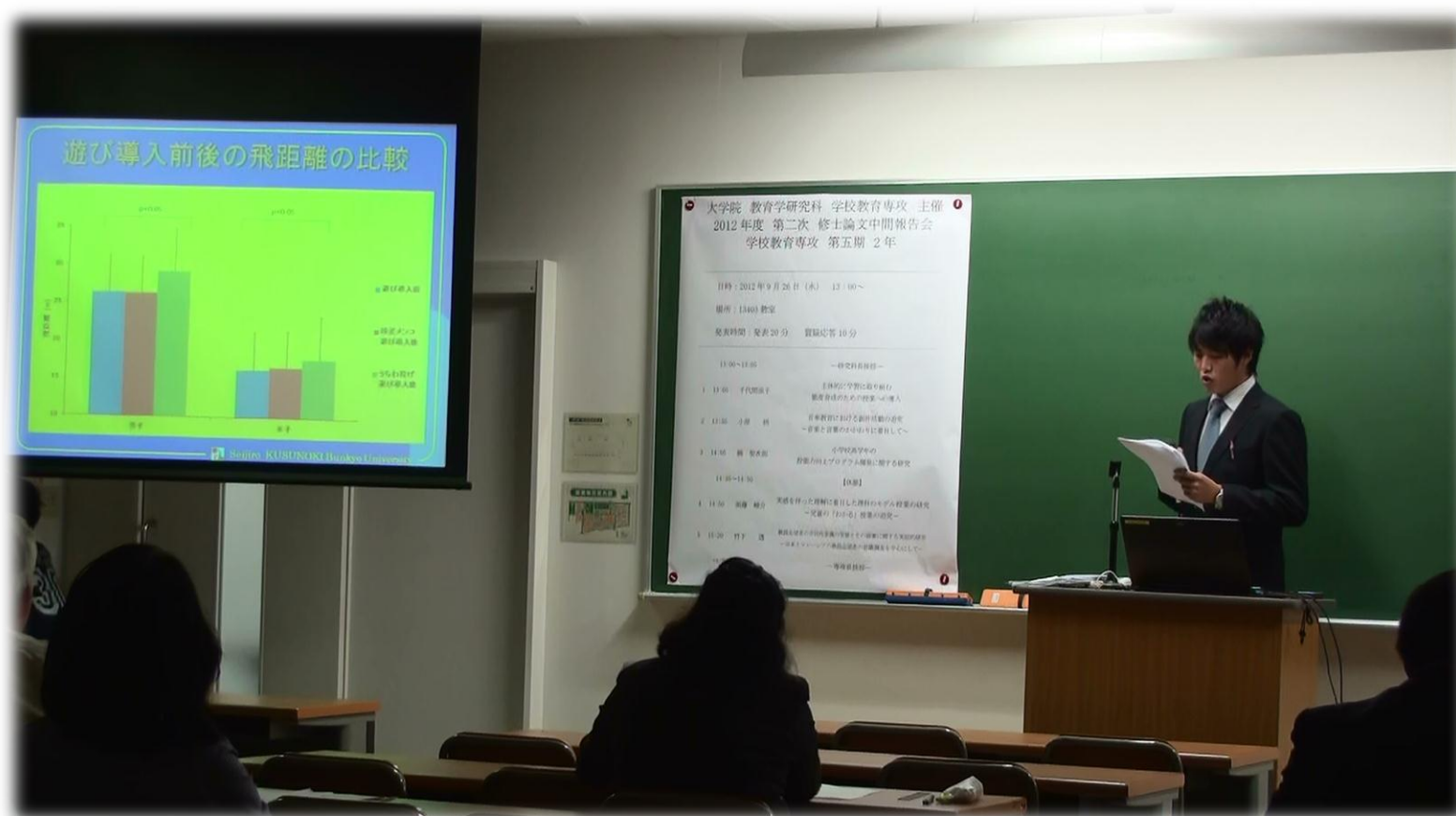
【休憩】

4 14:50 須藤 峻介

実感を伴った理解に着目した理科のモデル授業の研究
—児童の「わかる」授業の追究—

15:50～15:55

—吉田正生 専攻長挨拶—



感想

中間報告会を実施するにあたり、多くの方々の温かいご指導とご協力を頂きましたことに心より感謝申し上げます。

はじめの研究科長平澤先生のお言葉をうけて、緊張しながらもそれぞれが自分自身の現在までの研究成果を落ち着いて発表することができました。

質疑応答では、足を運んで頂いた本学の先生方をはじめ、教職経験をお持ちの一般の方、本研究科修了生、他の研究科の院生や学部生のみなさんから示唆に富む多数のご意見を頂戴しました。また最後には、専攻長の吉田先生から一人ひとりの発表に関して励ましのお言葉を頂きました。心より御礼申し上げます。

修士論文提出まで残り4か月を切り、いよいよ大詰めの時期となりました。限られた時間ではありますが、今回ご指摘頂いたご意見を参考に、新たな気持ちで自分自身の研究と向き合い、皆で支え合いながら修士論文完成を目指します。そして、2月の最終報告会では今以上に成長した姿をお見せできるよう一層精進いたします。

ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。

文教大学大学院 教育学研究科

5期生一同

以上